

「今、求められる支援スキルとは？」

こんにちは！いわき市保健福祉課・地域共生社会推進係です。
今回は、9月26日に開催した「地域共生社会研修会～多機関・
多職種・多分野協働～」での学びを共有します。

高齢・介護・障がい・医療などの分野で実際に支援にあたられて
いる方を対象に開催した研修会で、講師に片柳様（ふくしま心の
ケアセンター避難地域支援センター長）をお招きし、コミュニケー
ションスキルのお話やグループディスカッションを行いました。



講演

「今、支援者に求められるコミュニケーションスキル」

学び

- 「相手を肯定的に受け入れ、労う」
- 「言葉で癒す支援の力」
- 「支援者同士の支え合い」
- 「一瞬の関わりが人生を支える力になる」

支援者に求められるコミュニケーションスキル・姿勢・視点

その1 「**劳う**」 これまでのご本人を肯定する

その2 「**受け入れる**」 目の前のご本人を肯定する

その3 「**応援する**」 未来のご本人を肯定する

その4 「**相手の価値観を知り、理解し、受け入れること**」 傾聴の目的

その5 「**『生きる』を支える視点**」 「問題」と「その背景」の両方



グループディスカッション

テーマ



地域共生社会に向けて
今の私が既にしていること
これからできること



- 💡 全て肯定する視点を持つこと
- 💡 横のつながりを意識して多職種の方とつながる
- 💡 様々な方と積極的に話をしてみること
- 💡 支援者も支援することの大切さ
- 💡 学校の空き教室を活用した世代間交流(居場所づくり) など

7つのグループに分かれ 楽しくおしゃべり感覚で
すばらしいアイデアがたくさん！

～ 今回の研修を企画した「保健師」の想い ～

片柳先生の言葉で改めて気づかされ、胸が熱くなりました。

「 相談者は自身の「これまで」を知ってほしいと思っている
これまでの苦悩を「労い」、これまで頑張ってきたことを「労う」
その一瞬の労いが相談者を支え続ける「強い力」になる 」

私たち支援者の関わりの中で「人と人との出会い」がいかに大きな意味を持つか。
いわきの地域共生のテーマである「& (安堵)」が、
自然と参加者の意識の中に息づき始めた、そんな一体感のある研修となりました。

共にいわきの「地域共生社会」を考え、育んでいきましょう！

さあ、皆さん！ここからです。